

令和7年度 第1回石狩市民図書館協議会の会議 議事録

令和7年9月3日（水）午後3時より午後4時30分

石狩市民図書館 視聴覚ホール

出席者	石狩市民図書館協議会	会 長	河村 芳行
		副会長	松谷 初代
		委 員	佐藤 寿昭
			小笠原 由美子
			工藤 隆司
			中村 友昭
			長谷川 洋子
	石狩市民図書館	館 長	伊藤 学志
		副館長	工藤 一也
	サービス支援兼事業担当主査		工藤 直揮
	サービス支援兼事業担当主事		有好 一晟
欠席者	石狩市民図書館協議会	委 員	望月 静華
			青田 奈保子
		傍聴者	なし

<会議次第>

1. 館長挨拶
2. 委員の紹介
3. 関係職員紹介
4. 会長の選出
5. 議事
 - (1) 図書館要覧について
 - (2) 令和7年度 事業進捗状況と今後の事業等について
6. その他

■開会

工藤副館長：こんにちは。お集まりいただきありがとうございます。はじめに、今年度から新しく委員になられた方に、委嘱状をテーブルの上に置かせていただきました。次に、佐藤委員が少し遅れ、望月委員、青田委員が本日欠席ということを聞いております。

松谷副会長：それでは、定刻になりましたので、これより令和7年度第1回石狩市民図書館協議会を開催いたします。会長が選任されるまで、副会長の松谷が進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。今日の委員の欠席は、先ほど副館長からご案内がありましたとおり、望月委員、青田委員が欠席、また、佐藤委員が少し遅れての参加になるかと思えます。まず、市民図書館伊藤館長からご挨拶をお願いいたします。

■館長挨拶

伊藤館長：皆様、こんにちは。本日はご多忙の中お集まりいただきありがとうございます。また、日頃より本市図書館の運営にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。今年も早いもので9月となります。年度としても折り返しの時期を迎えます。今夏も暑い日々が続きました。涼を求め、この図書館にも多くの方が来館されました。市内の冷房が整備されている公共施設は熱中症対策としてクーリングシェルターに指定されております。今回も熱中症警戒アラートが発表されましたが、人々の様子を見ましても、図書館が地域の安全な場所であるということを再認識する夏だったのではないかと思います。

さて、この度、図書館協議会の委員として新たに就任いただきました、校長会の佐藤校長先生、それから市PTA連合会の工藤さん、そして武蔵女子短期大学の河村教授を迎えました。改めて就任いただきましたことにお礼申し上げたいと思います。これから本市の図書館運営並びに読書活動の推進にご協力をお願いしたいと思います。

本市では、今年度より図書館ビジョン、そして第5期こどもの読書活動推進計画がスタートしたところです。両計画では、これから5年間、本市が進めようとしている基本的な考えや施策について位置付けられたところです。図書館が情報メディアの拠点であると同時に、地域コミュニティの空間として賑わいや交流が生まれる場となるように取り組んでまいります。

また、今年度からこどもの権利条例が施行されました。こどもの声に耳を傾けながら、主体的な調べ学習活動などを支援していくため、電子書籍の導入やICTを活用した読書センター兼学習センターの取り組みなど、読書活動を推進していきたいと考えております。

最後になります。この石狩市民図書館も開館から四半世紀を迎えました。開館当初は30万人を超える来館者でしたが、近年は20万人を下回る状況です。しかしながら、未利用者がかなりいる状態で、この層をどのように取り込んでいけるか、という点ではまだ伸びしろがあると考えています。まずは市民に耳を傾けて、どのようなニーズがあるのかということに対して、ア

ンテナを張りながら図書館の取り組みを進めていきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、本市の図書館政策に対しまして、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

■委員の紹介

松谷副会長：続きまして、今回より新しく委員になられた方もおりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。今ちょうど到着された佐藤委員から時計回りで順番にお願いいたします。

佐藤委員：遅くなってしまう申し訳ございません。石狩市校長会に所属しています、石狩八幡小学校の佐藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

小笠原委員：石狩市保育所連絡協議会で、石狩仲よし認定こども園で主幹教諭をしています、小笠原由美子と言います。よろしくお願いいたします。

河村委員：武蔵女子短期大学の河村です。よろしくお願いいたします。石狩の教育委員会については以前お世話になりました。専門は図書館情報学で、40年ほど勤めています。どの場所にどんな図書館を建て、どのようなサービスを展開すれば、館長もおっしゃったように、より多くの利用者を取り込むことができるか、ということを研究しております。

長谷川委員：公募という形で任命されました、長谷川と言います。石狩で主任児童委員と人権擁護委員を務めています。よろしくお願いいたします。

中村委員：藤女子大学図書館に勤務しております、中村と言います。よろしくお願いいたします。

工藤委員：石狩市PTA連合会の監査という肩書で来ております。佐藤委員が勤務されている石狩八幡小学校でPTA会長を務めております、工藤と申します。よろしくお願いいたします。

松谷副会長：石狩で読み聞かせをしています、子っ子の会事務局長の松谷と言います。4期もこの委員をさせていただき、毎回色々と学ばせていただいております。

続きまして関係職員の紹介です。伊藤館長からお願いします。

■関係職員紹介

伊藤館長：改めまして館長の伊藤と申します。館長として参りましてから、今年で3年目に入りました。よろしくお願いいたします。

工藤副館長：副館長の工藤です。2年目になります。よろしくお願いいたします。

工藤主査：今年度から、サービス支援担当主査になりました、工藤です。よろしくお願いいたします。

有好主事：今年度から市民図書館に参りました、有好と申します。よろしくお願いいたします。

■会長の選出

松谷副会長：次に、会長の選出を行いたいと思います。どなたかご意見はありませんか。

中村委員：会長は、北海道武蔵女子短期大学教授の河村委員がよろしいのではないのでしょうか。

松谷副会長：ありがとうございます。いかがでしょうか。

－ 会場から異議なしの声 －

松谷副会長：それでは、拍手と異議なしのお声から、河村委員に会長をお願いいたします。では、これより河村委員に議事進行をお願いしたいと思いますので、会長席へ移動をお願いいたします。

■河村会長挨拶

河村会長：改めまして、北海道武蔵女子短期大学教授の河村でございます。以前にも図書館協議会で会長を務めさせていただきました。再び、この責任ある立場をお預かりするにあたり、身の引き締まる思いと共に光栄に思っております。近年はデジタル化や多様な利用形態への対応が求められる中、図書館の役割も大きく変化してきております。こうした変化に柔軟に対応しながらも、図書館が市民のサードプレイスとして、居場所であり続けるためにも、図書館協議会が果たすべき役割は、益々重要なものとなっていると感じております。皆様の多様な視点と経験を頂戴しながら、より開かれたプランを重ね図書館運営やサービスの質を高めていくことを目指し、効率よいスムーズな会議の進行を心掛けてまいりますので、皆様のご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。

本日の会議の予定は、第1点目が図書館要覧について、2点目は令和7年度事業進捗状況と今後の事業等についてとなっております。

資料の確認です。図書館から事前送付された資料を皆様お持ちでしょうか。では、図書館から議事録の記録方法について説明がありますのでお聞きください。

有好主事：はい、協議会の議事録は全文筆記で記録しまして、図書館で議事録の調整を終えた際には、出席された皆様方に内容の確認を行っていただき、そして会長の署名により議事録の内容を確定させたいと考えておりますがいかがでしょうか。

－ 会場から異議なしの声 －

有好主事：それでは、全文筆記とさせていただきます。

■議事

(1) 図書館要覧について

河村会長：では、議事に入りたいと思います。まず、(1) 図書館要覧について、図書館から説明をお願いします。

工藤主査：それでは工藤より、こちらの図書館要覧につきまして、説明させていただきます。こちらは令和6年度の図書館事業や統計、関連法規等をまとめた資料となっております。各種統計や事業などの数字につきましては、令和7年3月31日を末日として計算してまとめております。現在、コロナ前の水準にはまだ達しておりませんが、令和6年度の入館者数につきましては引き続き増加傾向となっております。

7ページの(5)利用登録者数についてです。令和6年度は、前年と比べて数値上は大幅な増加となっております。以前、図書館システムの保存データ量の増加による計算処理への負荷を避ける目的で、過去3年間に貸出のなかった利用者データを削除していました。しかし現在は、システム能力の向上により、この削除処理を継続する必要がなくなりました。年数をまたいで貸出を利用される方も一定数いらっしゃることから、再登録の手間を減らすため、今年度はこの3年間未利用者のデータ削除を停止しています。このことにより、見かけ上の数値として増加となっておりますので、ご了承ください。

また、要覧の17ページをご覧ください。こちらは事業者からの寄附、寄贈について記載されておりますので説明いたします。令和6年度の寄附の内容です。株式会社ワールドウッティ様から10万円の寄附がございました。いただきました寄附金は、調べ学習などに活用できる児童書の購入に使わせていただいております。また、令和6年度の寄贈内容です。株式会社環商事

また、市民図書館と恩納村文化情報センターとの友好図書館協定締結 10 周年を記念したおすすめ本フェアを開催いたしました。恩納村の方が選んだおすすめ本を展示し、市民図書館にない本は現物をお借りして貸出を行いました。恩納村やおすすめ本にメッセージを書いてくれた方には恩納村オリジナルのしおりをプレゼントいたしました。

続いて⑤「サマーブックマーチ」です。読まなくなった本のリサイクルで、NPO 法人ひとまちつなぎ石狩と市民図書館の協働事業で、3 年ぶりの開催となりました。200 人以上の方が来場し、約 12 万円の売り上げがありました。この収益は市民図書館の蔵書購入等に活用させていただく予定となっております。

図書館で初となるボードゲームイベントを開催いたしました。来館の少ない中高生を対象とし、20 名定員でしたが、若干少ない 8 名の参加となりました。アンケートからは、初めて図書館に来た方も 1 名おまして、今回のイベントを通じて、まずは図書館に来ていただく、という目的は達成できたのではないかなと思っております。今年度もう 1 回開催したいなと思っております。また、今回のボードゲームのイベントで使用しましたものの館内貸出を始めました。館内だけの貸出に限定することで、図書館に行かなければ遊ぶことができないので、少しでも来館のきっかけになるのではないかなと思って行っております。

花川南コミセンの設備工事に伴いまして、現在、花川南分館が臨時休館となっております。期間は 9 月 22 日までと 1 カ月近い休館となっております。広報などで既に周知はしております。花川南分館の利用者には、7 月頃から個別に周知を行っており、できるだけ利用者の方にご不便をかけないように対応しております。

その他、今年度、八幡分館にやっとエアコンを設置でき、利用者の方にも快適に過ごしていただいております。

次に、資料 4 ページです。学校司書連絡会議では、月に 1 回、学校司書が集まり情報共有等を行っております。市内の小学校や中学校のこどもたちが市民図書館に来館し、利用方法や館内見学を実施しました。次に「ぼけっと図書館の導入」についてです。これは学校図書館の本を児童が持っているタブレットを使って本を検索することができるものです。これにより、学校図書館の利用促進が図られることを目的としております。早い学校では夏休み前に運用を開始しており、多くの学校は夏休み後、これから運用を開始する予定となっております。感想をスタンプで共有でき、読書の記録をつけることもできるなど、色々なことができるものとなっております。

続いて、市民展示室ですが、市民個人が生涯学習活動の成果を無料で展示できるスペースとして、令和 5 年度から開設しており、今年度は灯台お兄さん展や布の花、ボードゲームなど幅広い展示内容で行っています。

こども司書養成講座についてです。今年は 3 年目となり、6 名が参加しました。実施回数を 3 回から 4 回に増やし内容の充実を図りました。新しい内容として、図書館で図書の修理ボランティアをしていただいている団体の協力を得まして、本の修理体験を行いました。また、こども司書が、テーマから考えて特集展示を行いました。「夏こそスイカを知ろう」「海の生き物

ってなんだろう」の2つのテーマで展示をしていただきました。大好評で、展示した本がすぐに無くなるほどでした。今年度も前年度のこども司書認定者が運営のお手伝いを行うほか、おはなし会の司会なども行いました。

今後の事業について説明いたします。元 Wikipedia 日本語版管理者の海瀬さんという方をお呼びし、生成 AI やディープフェイク、情報を取るときの注意点などについて講演していただきます。講演会の後はワークショップを行います。Wikipedia に掲載されている石狩に関する項目を、図書館の本を使って内容の更新を行い、実際に Wikipedia に反映する、というワークショップを9月17日に開催予定です。

科学の祭典 in 石狩についてです。ブース数を昨年の11ブースから16ブースに増やし、パワーアップしております。9月14日開催となっておりますので、お時間があればぜひ足を運んでいただければと思います。

次に図書館まつりについてです。図書館まつりはテーマを魔法として、魔法にちなんだ工作や大人気のマジックショー、ギターやアコーディオン演奏など、盛りだくさんの内容をお送りいたします。10月の25、26日の2日間です。

続いて大変好評の大人の図書館 JAZZ NIGHT です。今年度で3年目となります。多くの方がお酒を飲みながらジャズを聞き、時には手拍子をしたり、歌を口ずさんだり、毎年好評のイベントとなっております。11月16日開催予定となっております。

調べる学習コンクールです。今年度から石狩市や地域の人物を題材とした作品に「いしかりっこ賞」を新設して行います。

最後に、市内小中学校、義務教育学校に10月を目途に電子図書館（電子書籍）を導入する予定となっております。同時接続に制限がない、何度でも閲覧出来る、読み放題パックというものを選んでおります。朝読書や調べ学習などで使っていただければと思っております。

説明は以上です。何かご意見、ご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

河村会長：はい、ありがとうございました。只今の事業等について何かご意見、ご質問ある方いらっしゃいませんか。

佐藤委員：図書館に興味を持ってもらうためのボードゲーム等のイベントというのは凄く良いなと思って聞いていました。この図書館という施設で、本だけではなく色々な使い方ができると知ってもらえます。今も本当に綺麗な施設で、知らないのは本当にもったいないなと思ってます。私事になりますが、ちょうど中学生と高校生のこどもがおり、やはり勉強しに行くことがあります。しかし、そういうことができる場所がある、そういう使い方ができる、ということを知らなければ、その発想にはなっていないだろうと思います。だからこそ、色々なイベントを企画して、ここに足を運んでもらって、この施設のことを知ってもらうというのは、利用を促進していくということに大きく繋がっていくと思います。

松谷副会長：今のことに関連して、私たちもおはなし会でこちらに足を運びますが、すごく感心させられることがあります。例えば、期末テストや受験期などの時期になると、利用者がとても多いです。それを見てか、会議室が全て学習室に変えられていて、そのようなことを行っていると事業で紹介されていたら、今佐藤委員がお話しされたことのように、本を借りる、勉強する、だけではないということに繋がるのではないかと思います。毎回、「今利用者が多いので、会議室をすべて学習室にします」との案内がなされていますが、せっかく工夫しているのであれば、そういったところもPRされたら良いなと思いました。

工藤副館長：松谷副会長がおっしゃっている通り、館内で勉強する学生も多い中、定期的に机や席が無くなると、状況を確認し、部屋に机や椅子を並べて学習用として開放しております。先日の日曜日でもとても多く、視聴覚ホールも含めほぼ全ての部屋を学習用として開けても、なお満杯になってしまう状況ですので、少しでも利用者が困らないように、使いやすいように工夫をさせていただいております。

河村会長：他にご質問ございませんか。

工藤委員：気になったことが2点ほどあり教えていただきたいです。うちの子もそうなのですが、小学校で夏休みの本を借りていて、この前借りてきた本の裏に石狩市民図書館と記載されていました。夏休み中ずっと借りてて良かったものなののでしょうか。普通は2週間ですよね。

工藤主査：学校図書館を通していただければ大丈夫です。

工藤委員：もう1点ですが、Wikipedia とのコラボについて、このイベント内で、議論して更新するところまでをやるという形なんですね。

工藤副館長：そうですね。もちろん海獺さんという方はそういったことをされていますので、制度などのことも含めて見ていただいて、大丈夫であれば更新していただきます。

工藤委員：やったことはないのですが、いつも協賛金を集っていて、例えば今回のコラボにあたって支出していますか。

工藤副館長：講師の謝礼は払っていますが、特に Wikipedia に関しては何かこちらから支払う、参加者から貰うということはしていません。

河村会長：先ほどの貸出期限について、今お話があったように、小学校宛の団体貸出みたいな形になっているんです。このことも広報された方が良くと思います。石狩市では貸出冊数無

制限ということで、近隣市町村からの評判が良く、2000年から自動貸出機を導入したことをテレビで報道されていました。札幌市と比べても満遍なく良いサービスをしていると思うので、ご家庭の方が心配することも無いよう、あまり大きな人口ではないからこそ、広報活動した方が良いのではないかと思います。他にはございませんか。

中村委員：⑥の電子図書館について、音楽もそうですが、電子図書館のようなものが今後望まれるのではないかなと思うんですが、バックがあるというのを初めて知りまして、1年毎に内容が変わっていくものなののでしょうか。

工藤副館長：今考えていますのは、10月からのスタートで、1年単位となっていますので、1年後に別なものを選ぼうと思っております。予算も限られていてそれほど選べないですが、好評のものがあれば引き続き選ぶかもしれません。基本的には1年毎に変えていこうと思っています。その時には、こどもたちのアンケートや学校図書館にいる司書、先生方にもご意見いただきながら、中身は選書していきたいと思っております。

中村委員：これは学校内で見るものなののでしょうか。

工藤副館長：どこでも見れます。

中村委員：わかりました、ありがとうございます。

河村会長：この電子図書館は、こども向けの取り組みですか。

工藤副館長：今回入れたものが児童生徒、小中学生を対象にしたものになっておりまして、大人が読めないものではないですが、こどもを対象にしたものと一般的にやるのとでは契約が異なっておりますので、今回はこどもたちに少しでも本や読書に興味を持ってもらおうということで、こども限定、小中学生限定とさせていただいています。

河村会長：今この質問をしたのは、とても良い方向性だと思ったからです。私は今、道立図書館の協議会委員もしています。昨年からは各市町村の登録者に道立図書館の登録証を作るようご案内が来てるかと思うのですが、実は私が推進させてきたものです。というのも、道立図書館というのは全道民をサービス対象とした非来館型の図書館です。各市町村が電子書籍を買うというのは高く大変で、石狩市の登録証と道立の登録証とを合体できれば良いのですが、とりあえず同時に発行するよう案内しようということを去年から始めました。北海道中で見ることができ、利用者数は増えています。1人1回線となっていますが、見れないということも無く、問題なく利用できています。先ほどのこども向けのものには、利用や接続に制限が無く、とて

も良いと思っています。道立図書館ではコロナの時に 3,000 万円の補助金が出て、使い道に困っていたのですが、3,000 冊電子書籍を購入し、コロナで足を運んでくださっても困る時だからこそ進めてきました。とても人気で、来年度の事業でも中心行的に行っていく方向で話が進んでいます。藤女子大学でも行ってますよね。

中村委員：道立図書館と協力して、学生や教職員にカードを作っていただき、電子書籍が気軽に読めるように推進しています。11 月頃から募集をかけて少しずつ登録を増やしている状況です。

河村会長：今石狩市が行っている、こども向けのこの事業は良いなと思います。中身は分かりませんが、こどもが喜びそうなおすすみをパックにしているのでしょうか。今の電子書籍はコンテンツがあんまり良くはなく、私も利用してみたのですが、面白いものは電子化されていませんでした。まだこれから進めていくのだと思うのですが、石狩市では、他所よりも先にこども向けに力を入れているようで、良いサービスを展開しているのではないかと思います。予算はどれくらい出ていますか。

工藤副館長：今すぐにお答えできないのですが、確か 1 パック 10 万円くらいで、合計 5 パックの購入で 50 万円ほどだったかと思います。半分はデジタル関係の国の補助金です。河村会長が先ほどおっしゃってた道立のカードについては、今年の 4 月から当館でも作れるようにしまして、80 人くらいの登録を受けたかと思います。オーディオブックも含めて道立のものを使っただけで、足りていないこども向けのものだけ予算を取っているというところです。

河村会長：素晴らしいと思います。使っていただけて、道立でも喜ばれています。私が所属している協議会の委員も知らなかったと思うので、石狩市で利用者に電子書籍の使い方を広報しているのは良いと思います。他はございませんか。

長谷川委員：こども司書養成講座の件です。昨年この講座中にカレー作りをしているところを見ていまして、養成講座を卒業した人にお手伝いしてもらったり、一緒にスタッフからやってもらう形で増やしていくのはどうだろうかという話をしました。そして今年、りんくるに昨年参加した子たちが手伝いに来ていて、頑張っているんだね、図書館にも顔を出してね、と話しました。上の子たちの中にも、協力しようという子が増えてきているな、というのが垣間見れてとても良かったなと思いました。

河村会長：ありがとうございます。小笠原委員どうでしょうか。

小笠原委員：認定こども園では、絵本の読み聞かせを重視しています。最近は絵本を読み聞か

せるにあたって、こどもが座って見るのが難しい状態になっています。ただ、兄弟がいると、うちの園で借りたものを上のお姉ちゃんが読んでくれる、というようなこともあるようです。こどもだけでは読めない部分は親御さんに読んでもらうのが一番だと思うのですが、やはり仕事もあってか難しいようです。兄弟同士で支えあっているみたいなので、もっと絵本を読んでもらえるよう、園から発信していきたいと考えて行動しています。

河村会長：図書館では、日曜日などに読み聞かせをされているのでしょうか。

松谷副会長：「びっくりばこ」という団体さんが、第1、第3土曜日、私たちが第2土曜日の11時に実施しています。去年の平均だと1回に30人ほどいらっしゃいます。ほとんどが2～5歳の小さい子で、お母さんやおじいちゃんおばあちゃんが付いています。小学生はほとんど来ません。あとはデイサービスに通っている小学生です。また、職員のおはなし会が週1回、日曜日に行われていて、土曜日はほぼすべての週でおはなし会が行われています。

コロナ禍で、札幌市の図書館をすべて中止にしていた中、石狩では消毒をして、住所と名前を書いてもらいながら頑張っていました。私たちの団体にも、札幌市からファンの方、馴染のある方が数多く足を運んでくださり、続けることができました。小さいお子さんもそうですが、付いてきたお父さんやお母さん、おじいちゃんおばあちゃんが絵本を楽しんでいるというのがやりがいでした。良さを伝え、それが広がっていくのは良いことだと思って取り組んでいます。

河村会長：絵本やイソップなどの童話を大人になってから読み返すのも中々良いもので、こどもと一緒に読み返すのも良いのではないかと思います。

先ほどおっしゃったように、暑さから涼みに来るという理由だけでも良いので図書館を利用してもらう、というのは20年前から提案しています。避難所指定という形で、1番最初に取り組んだのは根室でした。今年については暑かったので、図書館が避難所のような施設として扱われました。石狩の市民以外にも、札幌市の近郊の北区、手稲区からたくさん足を運んだのではないかと思います。

来年、北大の中にもこども向けの絵本の図書館が作られ、現在、白石にも地下鉄駅直結の「えほん図書館」があります。「えほん図書館」にも、貸出用と館内閲覧用とで2冊ずつ用意することなど、色々と提案させていただいたのですが、場所が無いとのことでした。ただ、今建設中の伊達の図書館では、こどもを悲しませないようにとのことで、この方針で考えているようです。

他に質問やご意見はございますか。今話を聞いていて、色々なことに取り組み、市民に寄り添っていて、流石石狩だと感じました。大きい市だと中々難しいのですが、石狩市、北広島市、恵庭市などは頑張っているなと思います。

大人の図書館 JAZZ NIGHT、面白いと思います。私も来てみたいです。お酒飲みながら楽しめるのは最高です。札幌市図書・情報館でも、ビールを売って見たらどうかと提案しましたが、

札幌市から反対されました。元々、建設当時から、石狩市では本とは関りのないようなことも図書館で実施しようというポリシーを持っています。外でもイベントできましたよね。使わないのでしょうか。

工藤副館長：本当は外で実施しようという話もあったのですが、夏の屋外ですと天気によって左右されてしまうので、11月の屋内になりました。

河村会長：収益はどうなっていますか。

工藤副館長：出演者のCDを販売で置いているくらいで、見たい方は無料で見れます。お酒もそれほど高くない値段で喫茶コーナーにて提供しています。

河村会長：初めて聞きました。他に何かございませんか。

調べる学習コンクールは昔から行われていましたよね。

工藤副館長：ずっと行っています。やはり学校に、授業で時間がない中でご協力いただきつつ続けさせていただいております。

河村会長：校長をされてる佐藤委員がいますが、小学校と図書館の連携については重きを置いてうまく動いているのでしょうか。

佐藤委員：そうですね、こどもたちが休み時間に図書館を利用している様子はあります。本校で言うと、1階と2階に図書館を設置し、低学年向け、高学年向け、という形で分けております。こどもたちはよく図書館に来て本を読んでいると思います。また、調べ学習にて、図書館の本で調べたことをまとめる、ということも行っています。電子図書館の話がありましたが、今の学校の調べ学習にもマッチすると思います。見たい本が重なってしまうと、今までは担任がコピーして渡していましたが、それが無くなるのであれば、調べ学習を進めていくということに関して良い方向に進んでいくと思っています。

河村会長：今まで、連携、連携と言われてきて、どのように連携するのかということがあったかと思いますが、小学校との連携に道ができたのではないのでしょうか。

他には何かございますでしょうか。

長谷川委員：私も各学校に回ることが多く、図書館も見せていただくのですが、図書館司書さんがすごく頑張ってらっしゃいます。新しい本が入った時など、こどもたちが惹きつけられるような見せ方、置き方をしています。色々な本がたくさんありますが、各学校で少しずつ違い

があります。そういう意味でも頑張っていると思います。こどもたちも気軽に司書さんとお話ししていますし、昔はあまりそうでも無かったですが、私が行った時には図書館に人がいないことは無かったです。また、歴史等の漫画が目立ち始め、文字の図書が少なくなっていることについて、個人的には寂しさを感じています。それでもこどもたちが図書館に行っているというのは、本人の読む気持ちがあるからなのではないかと思います。

工藤委員：石狩八幡小学校と石狩中学校で「石狩八幡コミュニティスクール」を開催し、その中でおすすめ本という取り組みをしていて、主に委員さんが紹介文を書き写真を撮り、小・中学校に貼っていただいています。このような取り組みを市内全体でできたら面白いのではないかと思います。

工藤副館長：まだ企画段階ですが、利用者さんによるおすすめ本という、それに近いようなことを考えていて、内部でできるかどうか話しています。

河村会長：その他何かございませんか。

工藤副館長：次回の話になりますが、年度末の3月に予定しておりますので、また近くなりましたら日程調整させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

河村会長：その他何かございませんか。では以上をもちまして、令和7年度第1回石狩市民図書館協議会を終了させていただきます。皆様お疲れさまでした。ありがとうございます。

令和7年 //月 /0日

会議録署名委員

会長 河村 孝行 

